

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル バリアフリー活動 一覧

活動の柱

広く地域社会に貢献することを目的として“**Good Earthkeeping** (グッド・アースキーピング)委員会”を社内に設置。この委員会を中心に、全社的な取り組みとしての活動を行う。

取り組みの内容

1) バリアフリールーム(計4室)の設置

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルには計4室のバリアフリールームを設置。これはホテル開業当初(1991年)から設けているもので、今日まで継続。その特徴は以下の通り。

- (1) 各室の入り口ドア幅は85cm
- (2) 室内はオープンスペースを確保するためのワンベッドルーム
* エキストラベッドを入れてツインルームにすることは可能
- (3) 電動カーテンの設置
- (4) バスルーム入口は、入口幅は93cmの引き戸(スライド・ドア)
- (5) ホテルスタッフをすぐに呼べる“非常ボタン”を数箇所に装備
- (6) バスタブおよびトイレ横には、手すりを設置

【注】上記は、半身不随または下半身不随等、車椅子を利用されているお客様を対象にした設え。この他、視聴覚障害がおありのお客様のための設定でお部屋をアレンジすることも多数。例えば、聴覚障害の方のために(事前に)室内にFAXを設置する、など。

2) パブリックスペースに専用トイレの設置

スライド式のドアを設けた車椅子専用のトイレを、1階ロビーに設置している。

3) バスルーム専用の椅子を用意

耐水性クッション付きの椅子を常備し、リクエストベースで貸し出しを行う。

4) バリアフリーに関する、講演会の開催

2000年3月、全スタッフを対象に開催した。講師には自身も車椅子利用者の方をお迎えし、体験に基づいたさまざまなアドバイスや、ホテルに期待するサービス、姿勢、改善点などを伺った。以降、同様趣旨の講演会を不定期ながら継続開催している。

5) 食事への対応

咀嚼力の弱いお客様のために、リクエストに応じ、流動食などの特別なアレンジも行っている(野菜や、肉、魚をピューレ/ムース状に、ライスをおかゆに調理して提供)。そのアレンジも、障害の程度に応じて荒いみじん切り(軽度の場合)から、ピューレ状(より障害が重い場合)まで、個別の細やかな対応が可能。この他、ご要望に応じて、食物アレルギーに対応した食事も提供。

◇食事のご提供場所

ブッフェ・ダイニング「オーシャンテラス」(1階)、イタリアングリル「ラ ヴェラ」(2階)など。
人数や状況に応じ、他レストランの個室や宴会場においてもアレンジが可能。

バリアフリーグループの受け入れ実績

年平均で20～25件の養護学校の修学旅行を受け入れている。

《主な実績》

- 1) 知的/身体障害者の学校の修学旅行(長野県)…1998年～(毎年5月に2泊)各日・25名
- 2) 知的/身体障害者の学校の修学旅行(横浜市)…2000年～(毎年9月に2泊)各日・30名
- 3) 「全国脊髄損傷者連合創立40周年記念大会」…2000年10月に3泊
開催に伴う参加ゲスト(400名。内、車椅子ゲストは120名)の受け入れを行い、全館をあげて特別対応にて協力。その際のアレンジは以下の通り。
 - * 客室: シャワーヘッド/タオルなどを通常より低い位置にセット。またベッド位置を通常と変更して設置し、広い空間を確保
 - * 全エレベーターに操作員を配置
 - * 朝食: 専用会場(宴会場)を確保
 - * ドア/バル: 車椅子ゲスト運転の車はバレーサービスにて対応。また、荷物は全室バゲッジアップ対応
 - * フロント: 70cmの高さの参加者特設デスクを設置
- 4) これら団体ゲストの他、「個人」のお客様については、日常的かつ頻繁に対応させて頂いております。

【お客様からのお問い合わせ】

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル TEL:045-223-2222(代表)

ホームページ <http://www.interconti.co.jp/yokohama/>

アクセス: みなとみらい線「みなとみらい」駅下車 クイーンズスクエア連絡口より徒歩約3分

**【本件に関するメディアからのお問合せ先】**

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 広報担当

井上真澄: 045-223-2315 / 川井優子: 045-223-2314

Email: pr@icyokohama.com

FAX: 045-221-1531 (PR 専用)